

歯科口腔外科

《概要》

当科は頭頸部悪性腫瘍を専門とするが、そのほか口腔顎顔面領域の腫瘍、顎顔面形成外科（唇顎口蓋裂、顎変形症）、粘膜疾患に多くの実績があり、炎症、顎顔面外傷、神経疾患、顎関節疾患、歯科インプラント、インプラントのための造骨手術、および重篤な合併症を有し一般歯科では治療困難な有病者の歯科治療、入院中の患者の歯科的対応・応急処置を扱っている。また隣接する府立泉州救命救急センターからの顎顔面外傷・歯科疾患の処置依頼やコンサルトにも多く対応している。

患者構成は、地域の各科医療機関からの紹介、大阪大学からの南大阪地域の患者紹介など、院外からの紹介患者が約6割を占め、他は院内紹介・紹介のない患者で構成されている。

手術は患者の生活リズムをできるだけ崩さないよう可及的に外来手術とし、クリーンルームを使う必要のある症例も、日帰りの外来手術を有効に利用している。一般に長期入院になりがちな再建の必要な悪性腫瘍でも、当科では2週間で退院できるクリニカルパスに従い、通常2～3週間の入院で、早期の社会復帰を可能にしている。

今年度の特徴は、他院からの頭頸部癌進行例の紹介が急激に増えたことである。母教室である大阪大学の関連病院からの紹介と、当科での頭頸部癌治療の実績をきいて初めての紹介元も多くみられる。放射線科の血管内治療と共同で行う治療も多く、他院の耳鼻科・口腔外科で治療の中断を余儀なくされたいわゆる『がん難民』の救済に、当科でのサルベージ手術・動注化学療法・放射線科の血管内治療による一連の治療が奏功している。

【ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）】2001年、熊取町の京都大学原子炉実験所と大阪大学・市立泉佐野病院は、低エネルギー中性子を用いた『ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）』を世界で初めて頭頸部癌に対して行った。以来、頭頸部癌のBNCTでは、私達のグループが世界をリードしている。BNCTは再発などにより治療不可能とされてきた頭頸部癌・口腔癌の治療方法の一つとして行われ、癌難民の救済や生活の質（QOL）の向上には非常に有用な治療法となっている。また、2010年より、加速器を用いたBNCTを世界に先駆けて開始する予定である。当科では、さらに以下に述べるような集学治療の一環として位置づけている。

【癌の集学治療】＜頭頸部癌のあきらめない癌治療＞の実践---

近年『癌の治療』の発展はめざましく、治療効果も著しく向上し、進行した癌でも治せるようになり癌はもはや治らない病気ではなくなってきた。一方で、『緩和ケア』による、心の医療も著しく向上しており、多くの患者さんの救済に役立っている。

ところが、『緩和ケア』の向上により『癌の治療』から『緩和ケア』への切り替えが容易にされるようになり、『標準治療で制御しきれない、あるいは進行癌として標準治療では治療できない』と判断されると、ある日いきなり『緩和ケア』をすすめられるという事例も多くみうけられるようになった。「まだ治療を続けたい・治りたい」と願う患者さんは、癌難民として治療法を求めて彷徨うことも非常に増えてきている。このように、『治療を行う癌』と『治療不可能という理由で治療を断念し緩和ケアを行う癌』のどちらかに容易に分けられてしまうという現実がある。『癌の治療』も『緩和ケア』も発達したため、その境界があまりにも近づきすぎたことによる弊害の一つが癌難民の増加につながっていると考えられる。最初に治療した医療機関が、再発した癌を治せる医療機関を探さずに『緩和ケア』を勧めている現実があ

る。それに疑問を感じていたところ、この泉州の地に同じ志をもち、しかも優れた技術をもつ先生方がいることが判り、当口腔外科の『頭頸部癌の集学治療』を实践できる病院となっている。世界トップレベルを誇る頭頸部癌の『ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)』をはじめ、当口腔外科で施行する難易度の高い『サルベージ手術』、外頸動脈領域の超選択的・あるいは選択的『動注化学療法』、優れた設備をもつカテーテル室と優れた技術をもつ放射線科医師による『血管内治療 (IVR)』、樹状細胞を用いた『免疫療法 (DC 療法)』などを組み合わせることにより、多くの癌難民を救うことができるようになった。新鮮頭頸部癌症例のより確実な癌治療はもちろんのこと、さまよえる癌難民を何とか救うためのチーム医療をりんくう総合医療センターの口腔外科と放射線科、さらに母教室の大阪大学第2口腔外科や院外の複数施設との協力で実践している。

《実績》

手術症例 平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月

① 外来手術

[症例]

抜 歯	埋伏歯抜歯術	5 5 4 (4 8 4)
	単純抜歯	3 5 8 (1 4 4)
外 傷	非観血的整復固定術	1 0 (2)
	軟組織外傷縫合術	3 (1 1)
囊 胞	顎骨嚢胞摘出術	8 (1 2)
	軟組織嚢胞摘出術	1 5 (1 9)
良性腫瘍摘出術		2 0 (2 6)
生検		3 4 (3 3)
口腔上顎洞瘻閉鎖術		4 (3)
骨隆起形成術		6 (5)
歯槽堤形成術		4 (5)
インプラント除去術		9 (8)
インプラント留置術		4 (1 0)
歯根尖切除術		1 5 (1 3)
唾石摘出術		6 (2)
ガマ腫開窓術		5 (2)
埋伏歯開窓術		3 (3)
歯牙移植術		5 (6)
小帯形成術		4 (4)
抜釘術		4 (0)
軟組織・硬組織搔爬術		1 (0)

() 内平成 19.4～平成 20.3 実績

② 入院手術

[症例]

顎 骨 骨 折	観血的整復固定術	下顎骨折	10 (10)
		上顎骨折	0 (1)
		頬骨骨折	0 (1)
		多発骨折	0 (1)
	プレート除去術		11 (11)
腫 瘍	良 性 腫 瘍		9 (5)
	悪 性 腫 瘍	下顎歯肉癌	2 (4)
		上顎歯肉癌	1 (3)
		舌癌	1 (5)
		口蓋癌	1 (1)
		口底癌	3 (4)
		頬粘膜癌	0 (1)
		上顎癌	0 (0)
		口唇癌	0 (0)
		全頸部郭清術 (のみ)	1 (1)
		動注カテーテル留置術 (各種頭頸部癌)	16 (3)
	局所注射 (抗癌剤等)	4 (0)	
囊 胞 摘 出 術	下顎嚢胞		11 (7)
	上顎嚢胞		5 (4)
	術後性上顎嚢胞		0 (1)
形 成 手 術	顎堤形成術		1 (2)
	下顎再建術		2 (2)
	下顎枝矢状分割術		1 (3)
	上下顎骨切り術		0 (1)
	舌小帯延長術		0 (0)
	口唇形成術		1 (0)
	口蓋形成術		1 (0)
そ の 他	抜歯		1 (3)
	菌性上顎洞炎根治術		2 (3)
	インプラント除去術		0 (0)
	唾液腺摘出術		2 (0)
	ガマ腫開窓・摘出		1 (0)
	頸部腫瘍摘出術		2 (3)
	耳下腺腫瘍摘出術		0 (2)
	唾石摘出術		0 (2)
	舌弁による再建・閉鎖		1 (1)

() 内平成 19.4～平成 20.3 実績

《業績》

(1) 原著、総説、著書 (2008.4~2009.3)

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Effectiveness of Boron Neutron Capture Therapy for Recurrent Head and Neck Malignancies	Itsuro Kato, Yusei Fujita, Masatoshi Ohmae et al.	Oral Oncology	12	136-145	2008
2	Effectiveness of boron neutron capture therapy for recurrent head and neck malignancie	Itsuro Kato, Yusei Fujita, Masatoshi Ohmae et al.	Applied Radiation and Isotopes	67	S37-S42	2009

(2) 学会研究会報告 (2008.4~2009.3)

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	Selective Intra-arterial Infusion Achieved by Coil Embolization of Non-concerning Artery in Patient with Oral Cancer	Masatoshi, Ohmae, Itsuro Kato	12 thICOOOC2008 and 24 th ICMFS, Shanghai, China	2008.5.22-25
2	Effectiveness of Boron Neutron Capture Therapy (BNCT) for Recurrent Head and Neck Malignancies (HNM)	Itsuro Kato, Masatoshi Ohmae	12 thICOOOC2008 and 24 th ICMFS, Shanghai, China	2008.5.22-25
3	『頭頸部悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性』	加藤逸郎 大前政利ほか	第5回日本中性子捕捉療法学会 倉敷(岡山)	2008.7.25-26
4	『頭頸部悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性』	加藤逸郎 小野公二 大前政利ほか	第32回日本頭頸部癌学会総会(東京)	2008.6.11-13
5	『頭頸部悪性腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性』	加藤逸郎 小野公二 大前政利ほか	第45回日本癌治療学会総会(名古屋)	2008.10.30-11.1
6	Intra-arterial Infusion of Boron-10 (10B) compound in Boron Neutron Capture Therapy for Patient with Maxillary Cancer: A case report	Masatoshi Ohmae1, Itsuro Kato2, Koji Ono3	13th International Congress on Neutron Capture Therapy, Florence, Italy	2008.11.2-7
7	Effectiveness of Boron Neutron Capture Therapy for Recurrent Head and Neck Malignancies	Itsuro Kato, Koji Ono, Masatoshi Ohmae,	13th International Congress on Neutron Capture Therapy, Florence, Italy	2008.11.2-7
8	『頭頸部悪性腫瘍に対するBNCTの現状と問題点』	加藤逸郎 小野公二 大前政利ほか	平成20年度京都大学原子炉実験所専門研究会(京都大学原子炉実験所事務棟大会議室)	2009.2.6-7
9	:『一新たな集学的治療の可能性—ホウ素中性子捕捉療法と免疫細胞療法との併用』	加藤逸郎 小野公二 大前政利ほか	第6回日本免疫細胞療法学研究会学術大会(東京)	2009.2.21

(3) 院内研究活動 (2008.4~2009.3)

番号整理	演題	発表者	年月日
1	七階海側病棟勉強会『頭頸部悪性腫瘍における選択的動注化学療法』もうひとつの引き出しになりえた選択肢	大前政利	2008.11.26
2	NST『口腔ケアの経穴(つぼ)』	大前政利	2008.10.16